

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 4年 3月 28日

事業所名 P. P. P. ヒマワリ！玉島

保護者等数（児童数）25（27）回収数21 割合%84%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20				1 コロナ禍なので見学できていないのでわからない	1人ずつからでも対応していけたらと考えています
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1			1 職員の人数が適切か分からないが様々なアドバイスをもらっている。個別指導も時間をかけて良くしてくれている。	国の指定基準は満たしています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	1			2 建物の2階にあるためバリアフリーではないが、室内は子供たちが活動の流れを把握できるよう工夫している。	生活空間は、本人に分かりやすい環境に構造化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21					
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	21					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	1				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21				相談している内容に合わせて行ってくれている。	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	19	1			1 毎回違う内容で行ってくれている	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	1	4	6	そのような交流があるか分からない	保育園や幼稚園との併用での利用児が多い為、事業所としては行っていません
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1			おやつを食べていなくても、おやつ代を請求するということは説明を受けていない	食べていなければ、請求しないか持ち帰っていたできます。

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	21					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ <u>ペアレント・トレーニング*4</u> 等）が行われているか	11	1	3	6	こうしたらいいですよと対応の仕方など教えてくれる	個別で相談があれば、助言等はさせていただいています
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21				送迎時に話ができている。連絡帳に細かく様子を書いてくれている。	送迎時や連絡帳にて、様子を共有しています
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21					年に2回懇談を行っています
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	7	8	コロナ禍だからか、なかったように思う	コロナで保護者の集まりは実施できていないが、様子を見ながら計画していきたい
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20				1 保育園に通っているため三者で協力し合う必要があり、相談をしている。その際すぐに対応してくれている。	相談などあった場合は、迅速に対応させていただきます
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	2		3		年に2回行事予定と実施の様子を、お頼で配布しています
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	14	2		5	説明はあるが、しているかはわからない	年に2回実施している
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12			9		年に2回実施している

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	20	1		いつも嬉しそうに通っている。利用日に「ヒマワリ行くよ」と言うとカバンを持って玄関まで行き「早く」と急かすことも多いほど楽しみにしています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	21			担当の先生をととても好いているようで「〇〇先生がしてって言ってたよ」と伝えるとイヤイヤが止まったり行動に移そうとすることが多い。良くしてもらっているからこそ、息子も先生の言う事は聞こうと思っているように思う。家でもできることが増え本当に感謝している。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。